

第51回 日本フィル 夏休みコンサート2025



好評発売中!

【料金】全席指定・消費税込
S席 子供 3,800円/大人 5,800円
A席 子供 2,800円/大人 4,800円
B席 子供 2,000円/大人 3,800円

※ 子供 = 4歳~高校生
※ 4歳未満は入場できません。
チケットはお一人一枚ご用意ください。
★演奏時間は休憩を含めて約1時間50分です。

~プログラム~

第1部

エルガー:《威風堂々》第1番
ハチャトゥリアン:
《仮面舞踏会》よりワルツ
アンダーソン:ジャズ・レガート
リムスキー=コルサコフ:
《スペイン奇想曲》よりファンダンゴ

第2部

—— バレエ (7/19~27) ——
チャイコフスキー:バレエ《白鳥の湖》
(日本フィル夏休みコンサート2025版)
— 金子三勇士のピアノでみゆびっく (8/1~24) —
バルトーク:ミクロコスモスより
オスティナート (第6巻146番)
ベートーヴェン:エリーゼのために
リスト:ラ・カンパネラ
ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番より 第1楽章

第3部

だれにだってお誕生日 / うみ / 勇気100%

今年も
選べる♪

第2部 バレエ



指揮:園田隆一郎 / お話とうた:江原陽子
バレエ:スターダンサーズ・バレエ団 / バレエ演出・振付:鈴木 稔

7月19日 土	14:00	相模女子大学グリーンホール
7月20日 日	14:00	松戸森のホール 21
7月21日 月(祝)	14:00	府中の森芸術劇場
7月25日 金	13:00 & 16:30	横浜みなとみらいホール
7月26日 土	13:00 & 16:30	ソニックシティ (大宮)
7月27日 日	13:00 & 16:30	サントリーホール

♪特設ページ♪



第2部 ピアノ



指揮:大井剛史 / お話とうた:江原陽子 / ピアノ:金子三勇士

8月1日 金	13:00 & 16:30	サントリーホール
8月2日 土	13:00 & 16:30	横浜みなとみらいホール
8月4日 月	13:00 & 16:30	東京オペラシティコンサートホール
8月24日 日	14:00	ウェスタ川越大ホール



【お申し込み】日本フィル・サービスセンター
☎ 03-5378-5911 (平日 10時~17時) eチケット♪ <https://eticket.japanphil.or.jp>



人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。
JAPAN
PHILHARMONIC
ORCHESTRA
— 創立指揮者 渡邊 暁雄 —

日本フィルハーモニー交響楽団
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

第408回

横浜定期演奏会

408th YOKOHAMA Subscription Concert

2025年 6月14日(土) 午後5時開演
横浜みなとみらいホール

5:00pm June 14th (Sat.), 2025, at Yokohama Minato Mirai Hall



主催:公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
後援:神奈川新聞社、+vkk(テレビ神奈川)
協力:横浜みなとみらいホール
助成:文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会



横浜定期演奏会 2025/2026 シーズンラインアップ

2025年9月より開演時間が変わります

横浜定期演奏会は 2025/2026 シーズンより
15:00 開演 (14:10 開場) といたします。

第 410 回

2025年9月20日 (土)

指揮: カーチュン・ウオン
[首席指揮者]

ピアノ: 高木竜馬

伊福部 昭:

SF交響ファンタジー第1番

ラヴェル: ピアノ協奏曲

ドヴォルジャーク: 交響曲第9番《新世界より》



©Ayane Sato



©Yuji Ueno

第 411 回

2025年10月25日 (土)

指揮: 藤岡幸夫

トロンボーン: 伊藤雄太
[首席奏者]

吉松隆: アトム・ハーツ・クラブ組曲 第1番

吉松隆: トロンボーン協奏曲《オリオン・マシーン》
[日本フィルシリーズ第34作]

シベリウス: 交響曲第1番



©Shin Yamagishi



©井村重人

第 412 回

2025年11月22日 (土)

指揮: 太田 弦

ピアノ: 牛田智大

ショパン: ピアノ協奏曲第2番

チャイコフスキー: 交響曲第5番



©ai ueda



©Ariga Terasawa

©hiro.pberg berlin

第 413 回

2025年12月13日 (土)

指揮: 出口大地

ソプラノ: 砂田愛梨 メゾソプラノ: 山下裕賀

テノール: 石井基幾 バリトン: 高橋宏典

合唱: 東京音楽大学

ウェーバー: 歌劇《オベロン》序曲

ベートーヴェン: 交響曲第9番《合唱》



第 414 回

2026年1月24日 (土)

指揮・ヴァイオリン:
ヴィルフリート・和樹・ヘーデンボルク

ベートーヴェン: 《献堂式》序曲

モーツァルト: ヴァイオリン協奏曲第3番

ヨーゼフ・シュトラウス: ワルツ《我が人生は愛と喜び》

J. シュトラウス II 世:

アンネン・ボルカ、ボルカ・シュネル《浮き立つ心》

ワルツ《ウィーン気質》

ボルカ《帝都はひとつ、ウィーンはひとつ》

ワルツ《芸術家の生活》



第 415 回

2026年3月21日 (土)

指揮: 小林研一郎
[桂冠名誉指揮者]

クラリネット: 伊藤寛隆
[首席奏者]

モーツァルト: クラリネット協奏曲

ベートーヴェン: 交響曲第3番《英雄》



©山本倫子



©井村重人

炎のコバケン渾身の《巨人》と千葉清加との可憐なモーツァルト

数あるマーラーの交響曲の中でも、マエストロ小林研一郎が第1番《巨人》に寄せる想いは非常に深いものがあります。日本フィルとも繰り返し演奏を重ね解釈を深めてまいりましたが、今回は久しぶりに横浜定期で取り上げます。広いみなとみらいホール空間が濃密な「コバケンのマーラー」で満たされる瞬間をご体感ください。自ら作曲家でもある小林ならではのユニークかつ非常に効果的な解釈を聴きとることができるでしょう。前半には我らがコンサートマスター千葉清加をソリストとして清冽で典雅なモーツァルトのコンチェルトをお楽しみください。

Programs

モーツァルト:

ヴァイオリン協奏曲第3番 ト長調 K.216 (約24分)

Wolfgang Amadeus MOZART:
Concerto for Violin and Orchestra No.3 in G-major, K.216

—— 休憩 (20分) Intermission ——

マーラー:

交響曲第1番《巨人》ニ長調 (約53分)

Gustav MAHLER: Symphony No.1 "Titan" in D-major

指揮: 小林研一郎 [桂冠名誉指揮者]

Conductor: KOBAYASHI Ken-ichiro, Honorary Conductor Laureate

ヴァイオリン: 千葉清加 [日本フィル・アシスタント・コンサートマスター]

Violin: CHIBA Sayaka, Assistant Concertmaster

コンサートマスター: 木野雅之 [日本フィル・ソロ・コンサートマスター]

Concertmaster: KINO Masayuki, JPO Solo Concertmaster

プレ70周年
定期会員券
(全6回)

新規会員募集中!

S席 ¥34,200 A席 ¥29,100 B席 ¥25,200 C席 ¥21,300
P席 ¥16,200 [(第413回を除く) 全5回] Ys席 ¥10,800

© 山本倫子



指揮：小林研一郎 [桂冠名誉指揮者]

“炎のコバケン”の愛称で親しまれる日本を代表する指揮者。東京藝術大学作曲科、及び指揮科の両科を卒業。

1974年第1回ブタペスト国際指揮者コンクール第一位、及び特別賞を受賞。2002年プラハの春音楽祭では東洋人初のオープニング「わが祖国」を指揮して万雷の拍手を浴びた。これまでにハンガリー国立フィル、チェコ・フィル、アーネム・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、

フランス国立放送フィル、ローマ・サンタ・チェチーリア国立管、ロンドン・フィル、ハンガリー放送響、N響、読響、日本フィル、都響等の名立たるオーケストラと共演を重ね、数多くのポジションを歴任。ハンガリー政府よりハンガリー国大十字功労勲章(同国で最高位)等、国内では旭日中綬章、文化庁長官表彰、恩賜賞・日本芸術院賞等を受賞。作曲家としても数多くの作品を書き、1999年に日本・オランダ交流400年記念の委嘱作品、管弦楽曲『パッサカリア』を作曲、ネーデルランド・フィルハーモニー管弦楽団によって初演されると、聴衆から熱狂的な喝采を以て迎えられた。同作品はそれ以降も様々な機会に、アシュケナージ指揮N響、小林研一郎指揮日本フィル等で再演されている。2005年、社会貢献を目的としたオーケストラ「コバケンとその仲間たちオーケストラ」を設立、以来全国にて活動を続けている。CD、DVDはオクタヴィア・レコードより多数リリース。著書に『指揮者のひとりごと』(日本図書協会選定図書)等がある。現在、日本フィル桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィル・名古屋フィル・群響桂冠指揮者、読売日響特別客演指揮者、九響名誉客演指揮者、東京藝術大学・東京音楽大学・リスト音楽院名誉教授、ロームミュージックファンデーション評議員等を務める。

公式ホームページ <https://maestro-kobaken.com/>



今日のコンサートの聴きどころは？

ヨーロッパ文化史研究家小宮正安さんの
面白解説をお楽しみください！

16時20分
より
大ホール内
にて♪



小宮正安(こみや まさやす) ●ヨーロッパ文化史・ドイツ文学研究家。横浜国立大学(大学院都市イノベーション学府・都市科学部)教授。著書に『ベートーヴェン(第九)の世界』(岩波新書)、『ぼらの騎士』(音楽之友社)、『エリザベートと黄昏のハプスブルク帝国』(創元社)、『コンスタンツェ・モーツァルト(悪妻)伝説の虚実』(講談社選書メチエ)、『音楽史 影の仕掛人』『オーケストラの文明史 ヨーロッパ3000年の夢』(春秋社)、『モーツァルトを「造った」男ケッヘルと同時代のウィーン』(講談社現代新書)、『愉悦の蒐集 ヴンダーカンマーの謎』(集英社新書)など多数。NHK『ウィーンフィル・ニューイヤーコンサート』でのコメンテーターをはじめテレビやラジオへの出演や監修、『東京・春・音楽祭』でのナビゲーターなど、幅広い分野で活躍している。



ヴァイオリン：千葉清加

[日本フィル・アシスタント・コンサートマスター]

東京藝術大学付属音楽高等学校を経て、東京藝術大学卒業。東京藝術大学内にて安宅賞受賞。第49回全日本学生音楽コンクール全国大会小学校の部で第1位。併せて兎束賞・東儀賞を受賞。第51回全日本学生音楽コンクール東京大会中学校の部第2位。第1回YBP国際音楽コンクール総合第1位。

第2回長野国際音楽コンクール総合第2位。第1回名古屋国際音楽コンクール第1位。第72回日本音楽コンクール第3位。第3回仙台国際音楽コンクール第5位(日本人最高位)。2013年CHANEL Pygmalion Daysアーティスト。

これまでに、ミッシェル・マイスキー、ユーリー・バシュメット、ヴァレリー・オイストラフなど国内外の多くの著名な演奏家と共演を重ねており、ラ・フォル・ジュルネ(仏ナント)、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン、セイジ・オザワ松本フェスティバル、別府アルグリッチ音楽祭などの音楽祭にも出演し好評を博す。

東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、千葉交響楽団、藝大フィルハーモニア、香港フィルハーモニーなどの国内外のオーケストラとソリストとして共演。清水高師、ジュラル・プーレの各氏に師事。室内楽を岡山潔、山崎伸子、大山平一郎の各氏に師事。(株)日本ヴァイオリンより名器特別貸与助成を受ける。

現在、日本フィルハーモニー交響楽団アシスタント・コンサートマスター。Music Dialogueアーティスト。

2022年にオクタヴィア・レコードより発売したファーストアルバム「Touche le coeur」が、レコード芸術(音楽之友社)AudioAccessory(音元出版)にて特選に選出される。

全国のオーケストラにゲストコンサートマスターとして客演する他、ソロや室内楽など幅広い分野で活動している。NHK-FM、ニッポン放送、フジテレビ、TBS、雑誌などのメディアにも多数出演。



← YouTube チャンネル

【2分でわかる大人のためのオーケストラ入門 Plus+】
X、Instagramでは2分バージョン配信中!

この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムをご用意しております。ご要望の方は主催受付まで申し出ください。

●お客様へのお願い●

演奏中はお手持ちの時計のアラーム、または携帯電話などの電源はお切りください。手荷物、傘、チラシ類などの物音、話し声や体の動きなどで他のお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願い申し上げます。尚、録音、録画、演奏中の写真撮影は固くお断りしております。

モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第3番 ト長調 K.216

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト (1756-1791) のヴァイオリン協奏曲については、現在判明しているところでは5曲が真筆である。しかもこれらの楽曲は (第1番を除き) 1775年、作曲家が19歳の年に、わずか1年足らずの間に集中的に作曲された。

モーツァルトは当時、故郷ザルツブルクの宮廷楽団で第二コンサートマスターを務めていた。生前の彼は、鍵盤楽器と並んでヴァイオリンの演奏の腕前も超一流であり、この一連の協奏曲からもヴァイオリンに対する造詣の深さがうかがえる。

なおモーツァルトは1774年から1775年にかけて、隣国のバイエルンの都であるミュンヘンに自作のオペラ上演のために滞在し、その地で流行していた華麗なフランス音楽の洗礼を受けている。そうした影響は当ヴァイオリン協奏曲の中にも如実に表れており、とりわけこの曲の持ち味である典雅な響きは、「フランス風」のもの。しかも第3番は前作から3カ月ほど後の完成にもかかわらず、飛躍的な発展が成し遂げられており、音楽の美しさや内容の豊かさから、以降の2曲とともに演奏会のレパートリーとして愛奏されている。

なお今回の演奏に際し、2楽章のカデンツァ (独奏者の腕前を聴かせるために披露される独奏の部分) は、本日ヴァイオリン独奏者として登場する千葉清加が作曲家の山中千佳子氏に委嘱したもの。今回の演奏会が初演となる。

第1楽章：アレグロ、ト長調、4分の4拍子

冒頭に登場する第1主題の旋律は、同年の4月に初演されたモーツァルト作曲の音楽劇《羊飼いの王様》のアミンタのアリアからとられている。

第2楽章：アダージョ、ニ長調、4分の4拍子

オーボエの代わりにフルートが用いられ、弦楽合奏も弱音器を用い、美しい独奏の歌を引き立てる。

第3楽章：ロンド アレグロ、ト長調、8分の3拍子

ポプリ (メドレー) 風の形式で、フランスの影響が色濃い楽章。アレグレットの旋律は当時流行していたフランス発のポピュラーな民謡 (シュトラスブルガー) から引用しており、これもフランス様式の特徴であった。

楽器編成 独奏ヴァイオリン、フルート2、オーボエ2、ホルン2、弦楽5部。

マーラー：交響曲第1番《巨人》ニ長調

グスタフ・マーラー (1860-1911) の青春時代の傑作。彼の失恋体験を投影させた歌曲集『さすらう若人の歌』が誕生した1884年頃に着手されたが、紆余曲折を経た末、1888年によく一応の完成にこぎつけた。この時期マーラーは指揮者として頭角を現すべく、文字通り「さすらう若人」として、ヨーロッパ各地を転々としていた。そしてブダペストの王立歌劇場芸術監督に就任した直後に曲の完成、初演をおこなった。

初演の段階では、この交響曲は全部で5楽章から成り、しかもマーラー本人はこれを「交

響曲」ではなく「2部からなる交響詩」と呼んでいた。その後、初演の不評もあってスコアに手を入れるとともにいったんは曲全体に《巨人》というタイトルを与え、さらにそれぞれの楽章に次のような標題を掲げている。

「第1部 青春の日々から」

第1楽章 永遠の春 / 第2楽章 花の章 / 第3楽章 帆を一杯に張って

「第2部 人間喜劇」

第4楽章 座礁、カロの絵画の葬送行進曲 / 第5楽章 地獄から天国へ 心の深い傷が突然噴出する

しかしマーラーは、のちに「2部からなる交響詩」という名称も上記の標題もすべて破棄し、さらに《巨人》というタイトルも撤回した。また、再度の改訂の際には第2楽章「花の章」が削除され、最終的に、こんにち知られている全4楽章の形に落ち着いた。

なお第4楽章の標題のカロとは、フランスの画家ジャック・カロ (1592-1635) のこと。マーラーのイメージにあったのは、亡くなった猟師の葬列を描いた彼の幻想的な版画であったといわれる。また《巨人》というタイトルは、ドイツの作家ジャン・パウル (1763-1825) による、青年の迷いと新たな出発を描いた同名の小説に由来している。若き日のマーラーの中に渦巻いていた絶望と希望を、大編成のオーケストラの響きの中にこれでもかと詰め込んだ当作品を着想するにあたり、それはいかにも相応しい内容ではなかったか。

第1楽章：ゆっくりと、ひきずるように〜終始きわめてのどかに ニ長調、4分の4拍子、ソナタ形式。
弦楽器が特別な奏法 (フラジオレット) を用い、倍音をきかせた最弱音を続ける中、カウの鳴き声や、遠くからのファンファーレが響く幻想的な序奏部。主部に入ると、『さすらう若人の歌』から、希望に満ちて野山を歩く若者の喜びを描いた歌に基づく旋律が、チェロによって登場する。

第2楽章：力強い動きをもって、しかし速すぎないように イ長調、4分の3拍子、三部形式。
オーストリアの民族舞踊であるレントラーの要素を具えたスケルツォ。

第3楽章：おごそかに、そして威厳をもって、しかしひきずらないように ニ長調、4分の4拍子、三部形式。
楽章全体としては、葬送行進曲を基調としている。とはいえ冒頭部分でコントラバスの独奏によって奏でられる旋律は、ヨーロッパでお馴染みの童謡 (日本では『グーチョキパーでなにつくろう』という邦題でも知られている) をわざと短調にしたものといった具合に、ブラックなユーモアにも事欠かない。楽章の途中に登場する触れなば壊れんばかりの弱音で奏でられる旋律は、『さすらう若人の歌』から、失恋相手の思い出を若者が歌う旋律に基づいている。

第4楽章：嵐のように激しく〜短調〜ニ長調、2分の2拍子、ソナタ形式。
大オーケストラの響きを駆使した激しい総奏や、憧れや慰めに満ちた旋律、第1楽章冒頭部分の回想等が次々と現れる長大な楽章となっている。最後は、第1楽章の最後にも一瞬登場した凱歌が朗々と歌われ、大団円を迎える。

楽器編成 フルード4 (ピッコロ持替3)、オーボエ4 (イングリッシュホルン持替1)、E♭管クラリネット1、クラリネット3 (E♭管クラリネット持替1、バス・クラリネット持替1)、ファゴット3 (コントラ・ファゴット持替1)、ホルン7、トランペット5、トロンボーン3、バス・トロンボーン1、テューバ1、ティンパニ2、大太鼓、シンバル、トライアングル、銅鑼、ハーブ、弦楽5部。



Column

歴史でひもとく! ~クラシックこぼれ話 by 小宮正安



マーラーとモーツァルト

モーツァルトとマーラーの曲が並べられた本日の演奏会、両者ともMで始まる苗字を持ち、ウィーンを中心としたオーストリアと因縁浅からぬ関係にあった。しかもマーラーはモーツァルトのことを、こよなく尊敬していた。50歳過ぎに働き盛りにもかかわらず死の床についたマーラーが、うわごとで「モーツァルト」と呟いた、というエピソードも存在するほど。

そうでなくても、生前指揮者として活躍していたマーラーは、モーツァルトのオペラやオーケストラ曲を積極的に取り上げた。当時、モーツァルトは現在のようにたしかに有名な存在であったものの、18世紀の貴族文化の残照の中に生きた優美な音楽家であり、「クラシック音楽」のヒーローであるルートヴィヒ・ファン・ベートーヴェン(1770-1827)の登場を用意した先達…といった程度の捉え方をされていたのである。つまりあえて酷い書き方をするならば、「軽く見られた」存在だった。

ところがマーラーは、そうした風潮にノーを突きつけた。その一例こそ、総監督として君臨したウィーン宮廷歌劇場(現在のウィーン国立歌劇場)で、モーツァルトのオペラ《コジ・ファン・トゥッテ》の上演を企画し、自ら指揮をとった出来事。他にも、モーツァルトの未完のオペラ《ツァイアーデ》を補筆上演したり、当時のウィーンで毀誉褒貶を巻き起こしていた前衛芸術家集団「分離派」のメンバーであり、グラフィックデザイナーとして名を馳せていたアルフレート・ローラー(1864-1935)に、オペラ《ドン・ジョヴァンニ》の舞台装置の製作を依頼したりした。

特に後者に関しては、マーラーの先鋭的な指揮と、ローラーの抽象的な装置を通じ、センセーショナルな話題を巻き起こす。それまでもウィーン宮廷歌劇場では《ドン・ジョヴァンニ》はレパートリーとして定着していたものの、レパートリーであるからこそ、手あかのついた上演が繰り返されていたからだ。

交響曲をはじめとする自らの作品を通じ、クラシック音楽に新風を吹き込んだマーラー。その姿勢は、モーツァルト作品に対する彼の姿勢とも通じ合っていた。



ローラーがデザインした分離派展覧会のためのポスター、1902年

Next YOKOHAMA

第409回 横浜定期演奏会

2025年7月5日(土) 17:00
横浜みなとみらいホール

指揮: 原田慶太楼

ピアノ: 阪田知樹

ラフマニノフ: ヴォカリーズ(管弦楽版)

ラフマニノフ: バガニーニの主題による狂詩曲

ラフマニノフ: 交響曲第2番



原田慶太楼



阪田知樹

終演後
シーズンファイナルパーティー
開催!

残席僅少

S席 ¥8,500 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000 C席 ¥5,000 P席 ¥4,500 Ys席 ¥2,000
Ys席: 25歳以下の方が対象のお席です。S席以外から選べます。

第775回 東京定期演奏会(11月公演分)

想いを紡ぐ炎のコバケン、70周年へ向けて贈る特別な響き

2026年に創立70周年を迎える日本フィルにとって、いわば「社歌」とも言えるシベリウスの交響曲第2番。創立指揮者渡邊暁雄が1957年に指揮した第1回定期演奏会で演奏された我々の「ルーツ」ともいえます。今回の公演では桂冠名誉指揮者で渡邊の薫陶も受けた小林研一郎のタクトのもと、想いをこめてこの宝物を奏でます。前半では日本フィルが誇る奏者、ヴァイオリンの千葉清加とヴィオラの安達真理による華やかな共演でモーツァルトの協奏交響曲をお贈りいたします。日本フィルの今を語る上で欠かせない二人の活躍をたっぷりご堪能ください。



小林研一郎

2025年10月31日 金 19:00 / 11月1日 土 14:00
サントリーホール

指揮: 小林研一郎 [桂冠名誉指揮者]

ヴァイオリン: 千葉清加 [アシスタント・コンサートマスター]

ヴィオラ: 安達真理 [客演首席奏]

モーツァルト: ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲

シベリウス: 交響曲第2番



千葉清加



安達真理

【1回券】6月20日 発売

S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 ¥6,000 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500
Ys席: 25歳以下の方が対象のお席です。S席以外から選べます。

もうすぐ発売!

日本フィル×ピティナ ショパン・コンサート

2025年10月8日 19:00 7/2 発売

指揮: 横山幸雄 ピアノ: 古海行子* ピアノ: 関本昌平**

ショパン: ピアノ協奏曲第2番* ショパン: ピアノ協奏曲第1番** 他

S ¥9,000 A ¥7,500 B ¥6,500 C ¥5,000 P ¥4,000 Ys(25歳以下) ¥2,500

コパケン・ワールド Vol.41

2025年9月28日 14:00 サントリーホール

指揮: 小林研一郎 ヴァイオリン: 神尾真由子

サン=サーンス: ヴァイオリン協奏曲第3番 チャイコフスキー: 交響曲第5番

S ¥7,300 A ¥5,800 B ¥4,700 P ¥3,700 Ks(25歳以下) ¥2,000 Gs(70歳以上) ¥4,500

好評発売中!

横浜定期会員の特典

横浜ベイホテル東急(横浜みなとみらいホール向かい)にて、メンバーズ優待を行っております。

飲食: 下記店舗で、飲食料金が10%OFFとなります。(4名様まで) ※除外日および対象外メニューあり

オールデイダイニング「カフェ トスカ」/ラウンジ「ソマーハウス」/中国料理「スーツァンレストラン陳」

※会計時に横浜定期会員券をご呈示ください。※この割引は日本フィルのコンサート開催日以外にも有効です。※指定以外の店舗、および宴会は対象外ですのでご了承ください。※他の特典・割引との併用はいたしかねます。

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

(1956年6月創立)

- 創立指揮者/渡邊暁雄 ●首席指揮者/カーチュン・ウォン
●桂冠名誉指揮者/小林研一郎 ●桂冠指揮者兼芸術顧問/アレクサンドル・ラザレフ
●名誉指揮者/ルカーチ・エルヴィン ●フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)/広上淳一
●名誉指揮者/ジェームズ・ロッドラン ●客員首席指揮者/ネーメ・ヤルヴィ

公式X(元Twitter) @Japanphil



放送予定

2025年4月26日に上演した広上淳一&日本フィル「オペラの旅」Vol.1《仮面舞踏会》が放送されます。

NHK-FM『オペラ・ファンタスティカ』

放送日: 6月20日(金) 14:00~18:00

らじる☆らじるでの同時配信・聴き逃し配信1週間を行います。 ※変更・中止の場合はHP等でお知らせいたします。

テレビ番組レギュラー出演のお知らせ

日本フィルがBSに。指揮者が語るミニ番組!『Welcome クラシック』BS朝日 毎週水曜日 22:54~23:00(第3週、第4週は再放送)。ぜひご覧ください!

本日の公演は終演時のカーテンコールでの写真撮影が可能です

携帯電話・スマートフォン付属のカメラで着席のまま撮影をお願いいたします。フラッシュ、動画撮影はお控えください。詳しくは会場の掲示をご覧ください。

◆定期会員券ご寄付のお願い◆ お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

【1】寄付の方法

- ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。
●公演1週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。●会員券のご郵送料はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願いいたします。
●ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送いたします。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願いいたします。

日本フィル・サービスセンター 〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1

TEL: 03-5378-5911(平日10時~17時) FAX: 03-5378-6161(24時間) e-mail: order-ticket@japanphil.or.jp

横浜定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。心より御礼申し上げます。 5月の寄付者 匿名3名

敬称略・五十音順

- ソロ・コンサートマスター 扇谷泰朋 木野雅之 田野倉雅秋 アシスタント・コンサートマスター 千葉清加
第1ヴァイオリン 伊藤太郎 太田麻衣 九鬼明子 齋藤政和 榊 渚 竹歳夏鈴 谷崎大起 田村昭博 中谷郁子 西村優子 平井幸子 本田純一
第2ヴァイオリン 遠藤直子 大貫聖子 岡田紗弓 加藤祐一 神尾あずさ 川口 貴 佐藤駿一郎 末廣紗弓 豊田早織 町田 匡 山田葉月 松田千秋
ヴィオラ ☆安達真理 江藤史織 小俣由佳 小中澤基道 児仁井かおり 高橋智史 中川裕美子 中溝とも子 松澤雅奈
ソロ・チェロ 門脇大樹 菊地知也 チェロ 石崎美雨 伊堂寺 聡 江原 望 大澤哲弥 久保公人 篠原和仁 山田智樹
コントラバス 鈴木優介 成澤美紀 宮坂典幸 森田麻友美 山口雅之 フルート ◎真鍋恵子 齋藤光晴 難波 薫 オーボエ ◎杉原由希子 ◎松岡裕雅 佐竹真登
クラリネット ◎伊藤寛隆 ◎楠木 慶 照沼夢輝 堂面宏起 ファゴット ◎田吉佑久子 ◎鈴木一志 中川日出鷹 ホルン ☆丸山 勉 ◎信末碩才 伊藤 舜 原川翔太郎 村中美菜
ソロ・トランペット オッタビアアノ・クリストーフォリ トランペット ◎大西敏幸 ◎大飼伸紀 中里州宏 中務朋子 星野 究 トロンボーン ◎伊藤雄太 ◎笠間勇登 福島莉那
バス・トロンボーン 中根幹太 テューバ 柳生和大 ティンパニ ◎エリック・バケラ ◎池田健太
パーカッション 大河原 渉 ◎本間雄也 ハープ 松井久子
楽団長 星野 究 チーフステージマネージャー 阿部紋子 ステージスタッフ 長橋健太 森田大翔 チーフインスペクター 佐藤駿一郎 インスペクター 鈴木優介 谷崎大起 ライブラリアン 鬼頭さやか 坂庭史映 杉本哲也
理事長(代表理事) 平井俊邦 副理事長(代表理事) 五味康昌 専務理事(代表理事) 福井英次 常務理事(代表理事) 後藤朋俊 理事 石井啓一郎 石塚邦雄 佐々木経世 田村浩章 戸所邦弘 中根幹太 葉田順治 福本ともみ 監事 上條貞夫 福澤宏哉 評議員会会長 加藤丈夫 評議員 青井 浩 安孫子 正 荒蒔康一郎 石村 等 稲垣 尚 内川清雄 大塚宣夫 海堀周造 梶浦卓一 河北博文 喜多崇介 木村恵司 久保田 隆 小林研一郎 島田精一 津田義久 西澤 豊 野間省伸 福満一夫 村上典吏子 山口多賀幸
名誉顧問 熊谷直彦 島田晴雄 田邊 稔 マネジメント・スタッフ 浅見浩司 磯部一史 江原陽子 及川ひろか 小川紗智子 萩島里帆 賀澤美和 柏熊由紀子 小須田萌 佐々木文雄 澤田智夫 篠崎めぐみ 杉山綾子 杉山まどか 高橋勇人 田中正彦 樋谷祐子 中村沙緒里 西田大輔 西田真菜 長谷川珠子 樋高雄太 藤田千明 古館順一 別府一樹 益満行裕 宗澤晶子 山岸淳子 吉岡浩子 和田美希 シニア・パートナー 新井康久 伊波 睦 永島義郎 南部洋一 吉江信博
団友 青柳哲夫 青山 均 赤堀泰江 新井豊治 石井啓一郎 伊藤恒男 伊波 睦 宇田紀夫 遠藤 功 遠藤剛史 大石 修 大川内 弘 寛 美知子 金本順子 蒲谷隆行 川口和宏 菊田秋一 岸良開城 吉川利幸 木村正伸 小林俊夫 小山 清 齋藤千種 佐々木裕司 佐藤玲子 菅原 光 高木裕子 高木雄司 高木 洋 高倉理実 高山智仁 田沢 烈 内川和男 堂坂俊子 富樫尚代 豊田尚生 中川二朗 永田健一 中務幸彦 奈切敏郎 橋本 洋 畑井紀代子 平賀法子 福島喜裕 松本克巳 松本伸二 三本克郎 宮武良平 三好明子 森 茂 山下進三 山科淑子 渡辺智雄

(2025年6月1日現在)

◎首席奏者 ☆客演首席奏者 ○副首席奏者 □試用期間